

『胃癌術後患者における PGSAS アンケートを用いた 栄養指導の影響』について

胃癌の外科的治療後に胃切除に伴う食事摂取量の減少や消化・吸収障害から様々な栄養状態の不良をきたすことが知られています。近年、術後体重減少や筋肉量の減少が予後に悪影響を及ぼすことが知られています。周術期の栄養介入が臨床試験として行われ、一定の報告はありますが、術後1年間の長期間にわたる栄養指導の効果については明らかにはされていません。そこでこのたび、診療内容に関する調査を実施することといたしました。

●調査の方法

調査を行う施設：南奈良総合医療センター

対象となる患者さん：2024年9月～2026年3月の間に、当施設で胃癌に対して手術を行った患者さん。

調査項目：年齢、性別、既往疾患、手術時間、出血量、術後検査値、PGSASアンケート、生体組成分析、身体測定値など

調査データは、個人を特定する情報をいっさい含まない形で、研究事務局に集められます。

当院における胃癌の術後の情報を分析し、実際の動向を把握することができます。

この調査結果は、今後標準治療のさらなる普及を進めるにあたり大変役立つ情報となります。

●調査期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

●調査の対象となる患者さんへ

1. この調査で集められるデータは、当院のカルテ等、あなたが治療を受け、すでに存在する情報のみを使用します。この調査により新たな検査や負担は発生しません。
2. 事務局に集められた情報から、あなた個人が特定されることはありません。

3. この研究の結果は、学術雑誌や学会にて発表し、胃癌診療の進歩に役立てていくこととなりますが、公表する際にも個人情報を使用されることはありません。

4. この調査は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して行います。当施設の倫理委員会において、この調査の対象となった方の不利益にならないことや医学の発展に役立つ情報が得られることが確認され、承認を受けています。

●この調査への協力は任意です。

この調査で使用するデータは、カルテ等あなたが治療を受けた医療機関に、すでに存在する情報のみを使用します。この調査により新たな検査や負担は発生しません。

そのため、患者さんお1人ずつのこの調査へのご協力の意思をあらためてうかがわずに、この「お知らせ」を以て、患者さんのご同意をいただいたものとして実施されます。

調査の趣旨をご理解いただき、この調査にご協力を賜りますようお願いいたします。

この調査でのデータの使用を希望されない場合や、途中からデータの使用取りやめを希望される場合は、下記の「お問い合わせ先」にご連絡ください。

お問い合わせ先
調査実施責任者

◆ 研究責任者

南奈良総合医療センター 外科 切畑屋 友希

◆ 研究事務局

南奈良総合医療センター 外科 切畑屋 友希

◆ お問い合わせ先

南奈良総合医療センター 外科 切畑屋 友希

〒638-8551 奈良県吉野郡大淀町福神8-1

電話番号 0747-54-5000